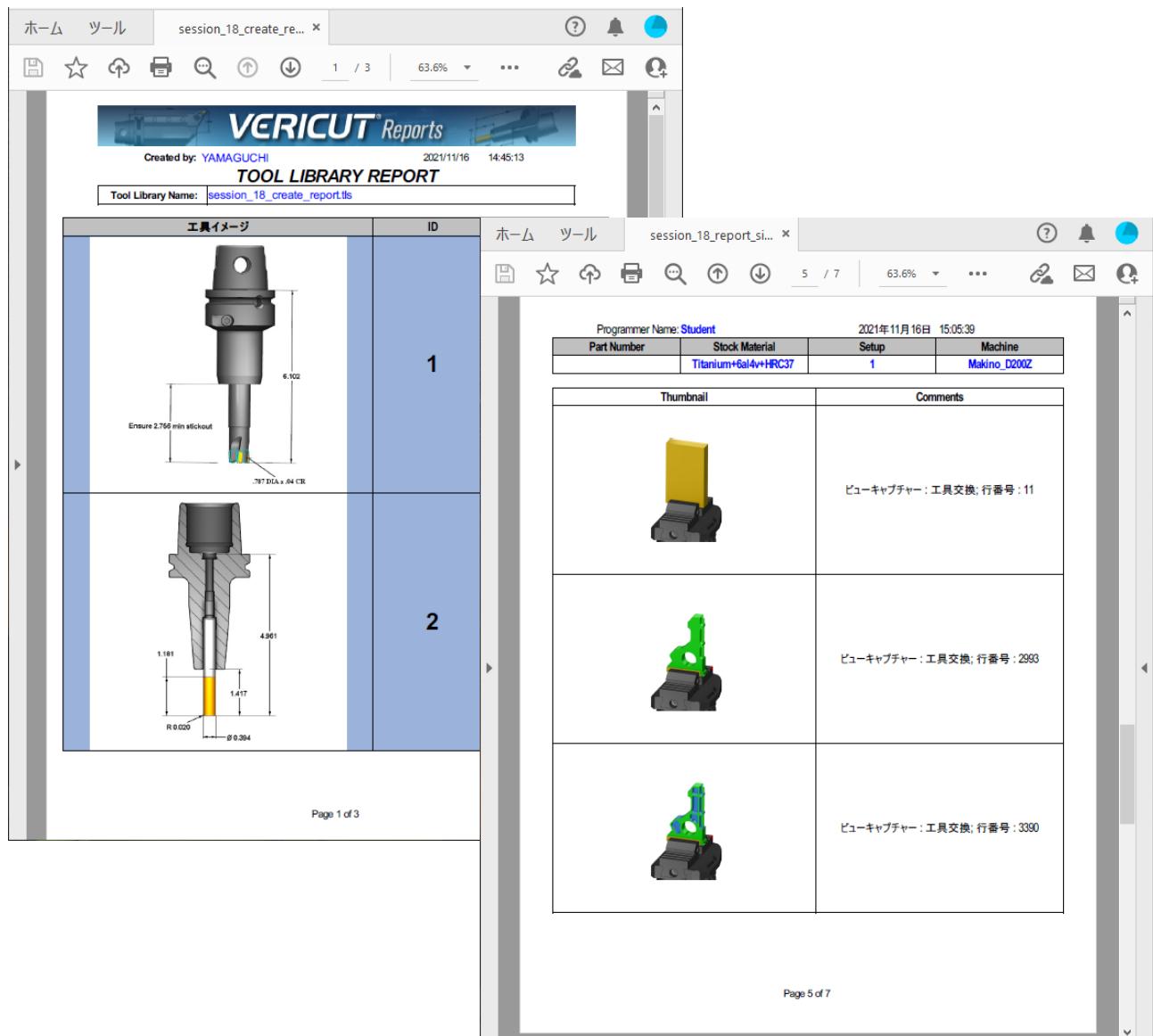


## セッション 18 - レポートの作成

このセッションでは、プロセス文書(ベリカットレポート)の作成方法を示します。レポートには工具マネージャーレポートとシミュレーションレポートがあり、切削工具の画像、工具交換時の切削ワークの画像、切削工具ごとの情報を表示します。



トレーニングのプロジェクトファイル session\_18\_create\_report.vcproject を開いた状態から始めます。

## 1. 寸法を入れて工具マネージャーレポートを作成する

- プロジェクトツリーで、 工具: session\_18\_create\_report をダブルクリックして工具マネージャーを開く

工具マネージャーで、以下の手順を踏みます。

- (1)工具の断面表示
- (2)工具に寸法を記入
- (3)レポートテンプレートを編集
- (4)工具レポートを作成

(1)工具の断面表示

- 工具テーブルで工具 2 を選択



- リボンバーで[ビュー]タブ> (断面)



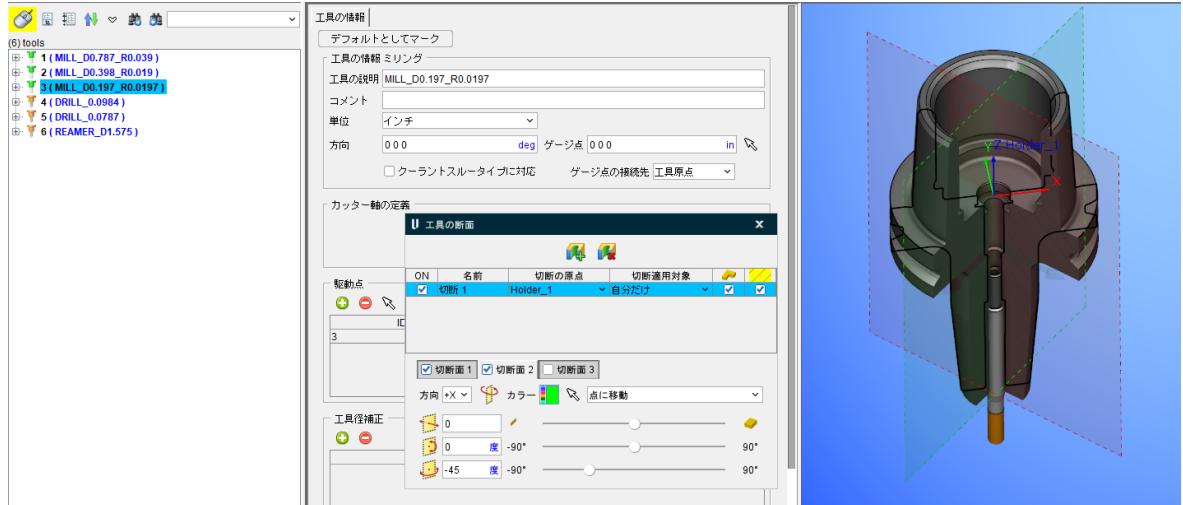
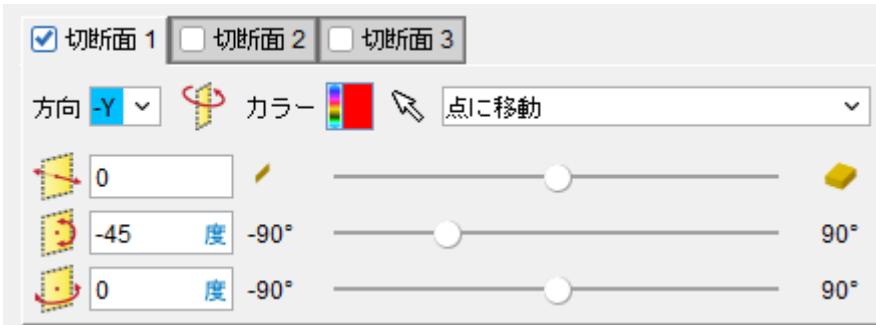
## セッション 18 (v9.6)

-  (新しい切斷を作成)を選択
- 切断面 1 にチェック
- 切断の原点=Holder\_1
- 切断適用対象=自分だけ
-  (クロスハッチング)をオン
- 方向=-Y



- [断面]ウィンドウを閉じる

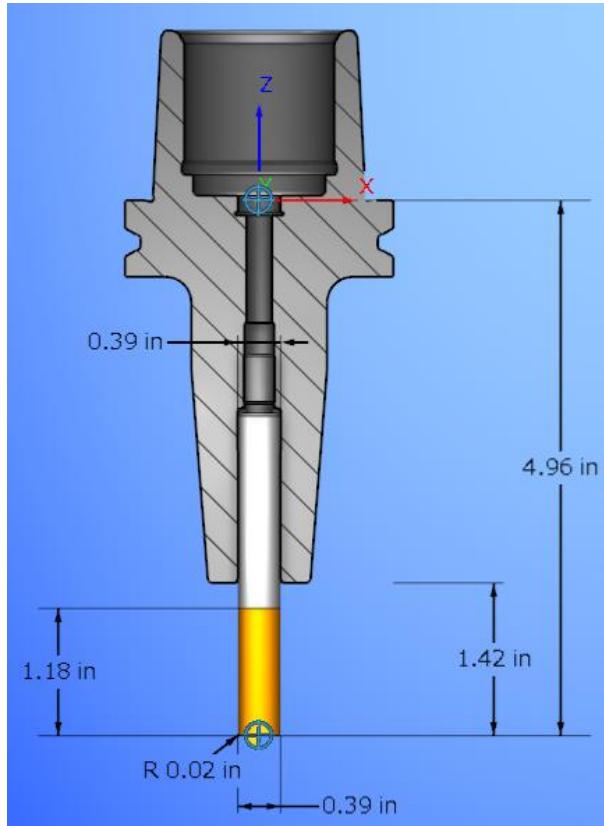
- 工具テーブルで工具 3 を選択
- リボンバーで[ビュー]タブ>  (断面)
- 切断面 1 と切断面 2 を下図のように設定



- [断面] ウィンドウを閉じる
- 工具 4、工具 5、工具 6 も適切に切断する

## (2) 工具に寸法を記入

- 工具テーブルで工具 2 を選択
- リボンバーで[X キャリパー]タブ >  (工具の注釈)



注記: 「工具の注釈」機能で、工具マネージャーファイルにある各工具のデフォルト寸法を表示します。

- リボンバーで[X キャリパー]タブ > [ラベル]グループ >  (拡張設定)

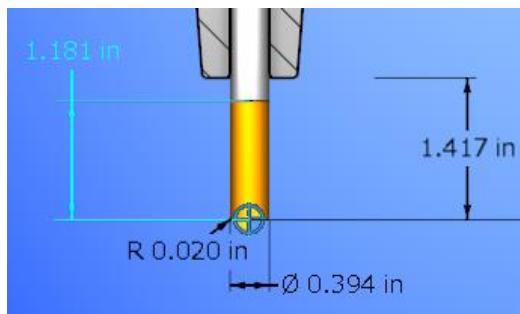
注記: 「拡張設定」機能で[ラベル設定]ウィンドウが開き、測定ラベルに対してデフォルトで表示される情報を管理できます。このウィンドウでの設定変更は、次回の測定から有効になります。この設定は環境設定ファイルに保存されます。ラベル設定は、ビューのウィンドウでラベルを左クリックして現れるメニューでも変更できます。

- 小数点以下 2 桁の寸法表示を、3 桁に変更する
- 直径／半径(in) = 3

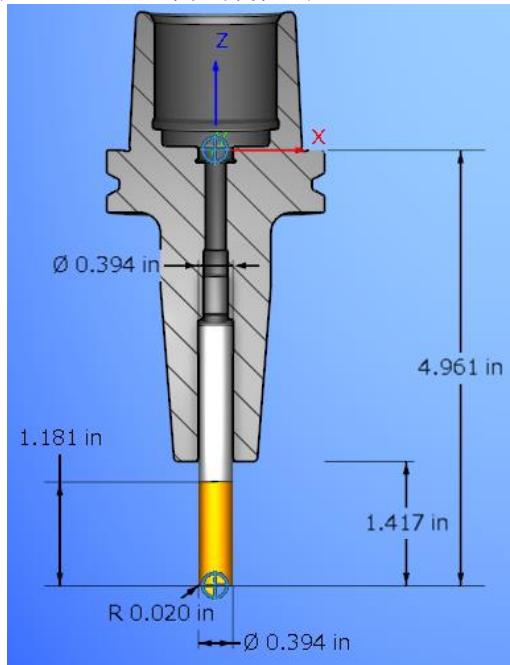


## セッション 18 (v9.6)

- 寸法の数字をどれか 1 つ選択し、マウスボタンを押したまま移動し、希望する位置に数字を再配置  
注記: 寸法が選択できない場合は、測定のアイコンのどれかを選択して測定モードにします。



- すべての寸法で同じ操作をする



- リボンバーで[X キャリパー]タブ> (カスタムビューを保存)

注記:

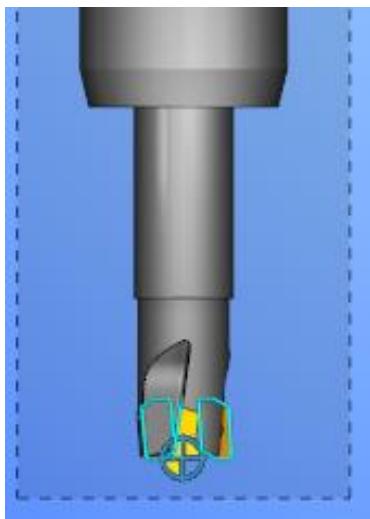
(カスタムビューを保存)の機能で、特定の工具の寸法変更とビューの向きを保存できます。

(デフォルトビューを復元)の機能で、寸法変更とビューの向きを削除し、デフォルト表示に戻します。

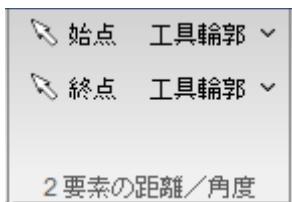
- (工具の注釈)をオフ

## セッション 18 (v9.6)

- 工具テーブルで工具 1 を選択
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>[ラベル]グループ>  (注釈面を設定)



- リボンバーの[X キャリパー]タブ>[2 要素の距離／角度]グループ
- 「始点」と「終点」のプルダウンから、「工具輪郭」に設定



- 「始点」をクリックすると、メッセージ領域の上側にヒントが表示される

「From」を選択する

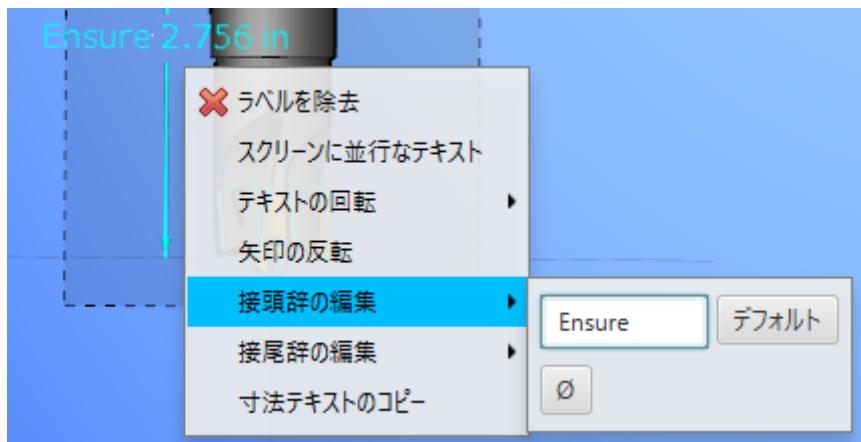
- カーソルを動かし、下図の直線をピック(工具の突き出し長を測るため)



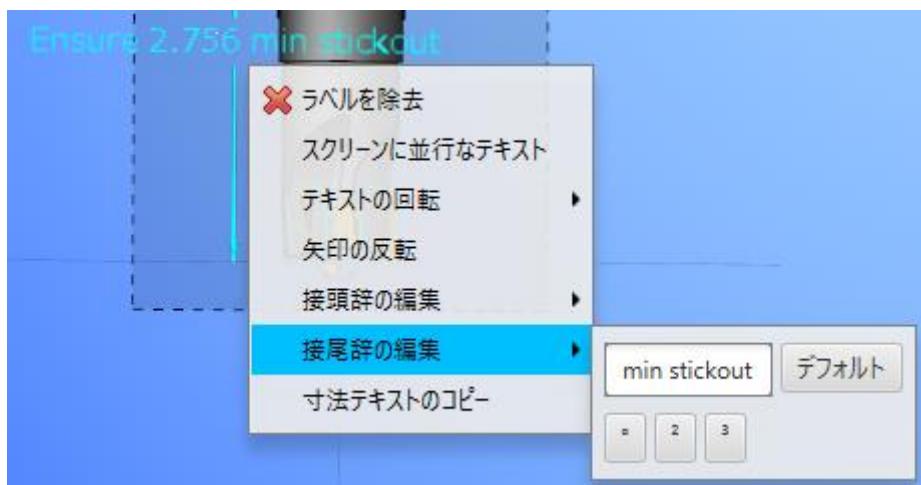
- 「終点」に移るので、下図のホルダー輪郭をピック



- 測定寸法の左クリックから、「接頭辞の編集」を選択して下図のように「Ensure」と入力  
(※日本語のIME入力には対応していません)

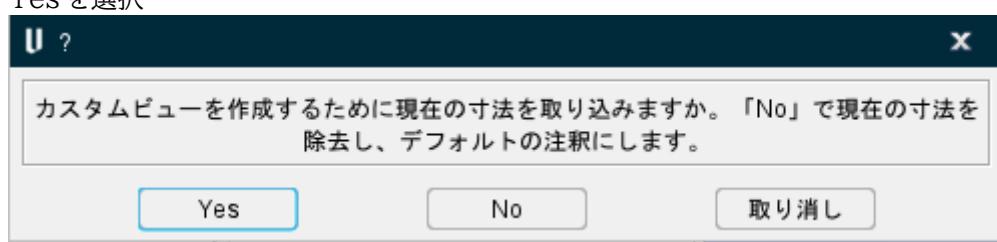


- その下の「接尾辞の編集」を選択して下図のように「min stickout」と入力  
希望する位置に表示を再配置



注記: [ラベル]グループの[テキスト表示]のカラーパレットアイコン で、寸法のカラーを指定します。[フォントサイズ] で、寸法テキストのサイズを選択できます。

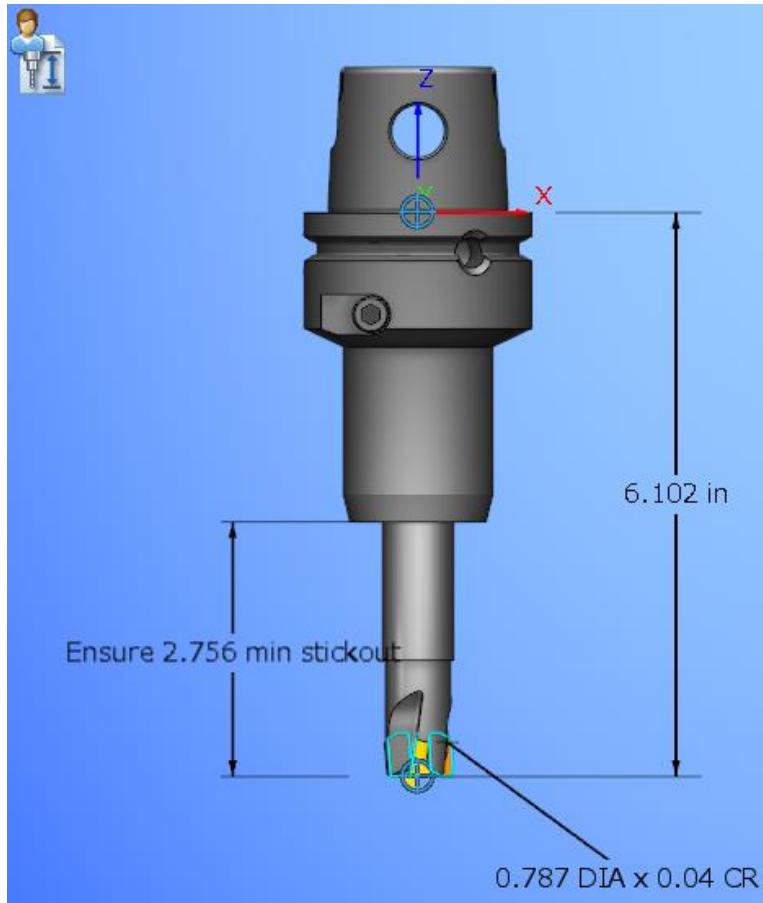
- リボンバーで[X キャリパー]タブ> (工具の注釈)
- Yes を選択



- リボンバーで[X キャリパー]タブ> (カスタムビューを保存)

## セッション 18 (v9.6)

- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (固定位置注記を追加)  
注記「0.787 DIA x 0.04 CR」を入力し、希望する位置に再配置 注記を左クリックして引き出し線を追加



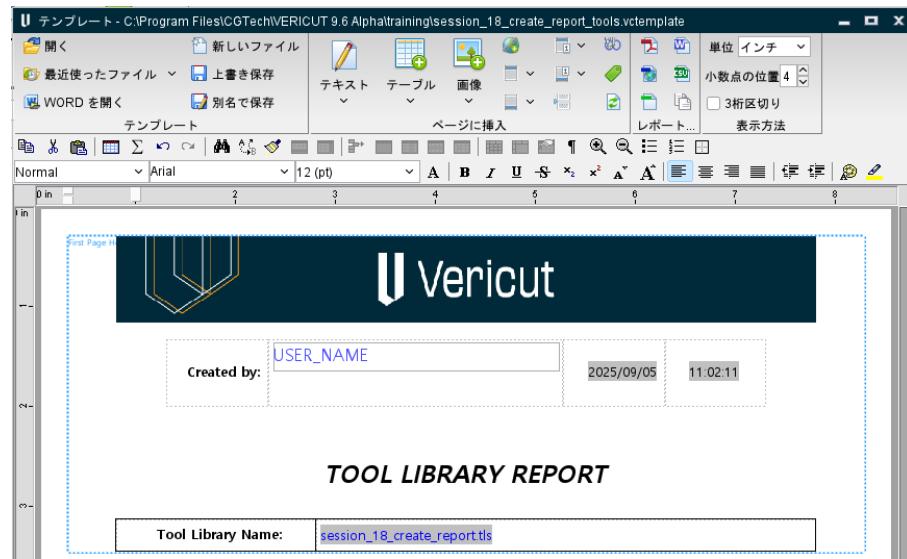
- リボンバーで[X キャリパー]タブ>  (カスタムビューを保存)

すべての工具で寸法設定を行います。工具をカスタマイズした後は忘れずに、「カスタムビューを保存」します。

- リボンバーで[工具]タブ>  (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session\_18\_create\_report.tls
- 保存

(3)レポートテンプレートを編集

- 工具マネージャーのリボンバーで[各種レポート]タブ>[テンプレート]>プルダウンリストから「編集」を選択

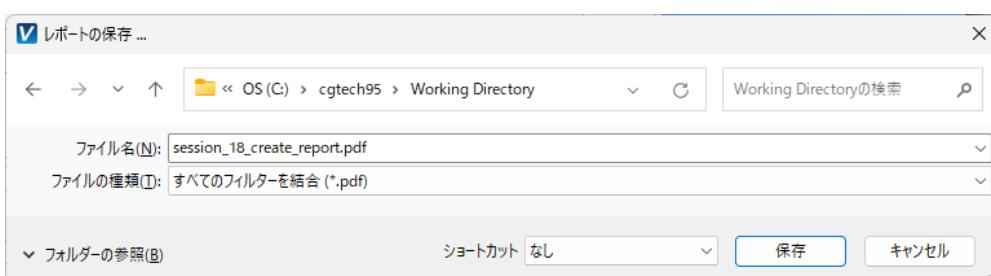


注記: [テンプレート] ウィンドウでは、新しいレポートテンプレートの定義と既存のレポートテンプレートの修正ができます。また、レポートを作成する他に、作成したレポートを HTML と PDF の形式でプレビューできます。

- [テンプレート] ウィンドウのリボンバーで、 (開く)
- ショートカット=トレーニング
- ファイル名=session\_18\_create\_report\_tools.vctemplate

このテンプレートを使って、レポートを作成します。

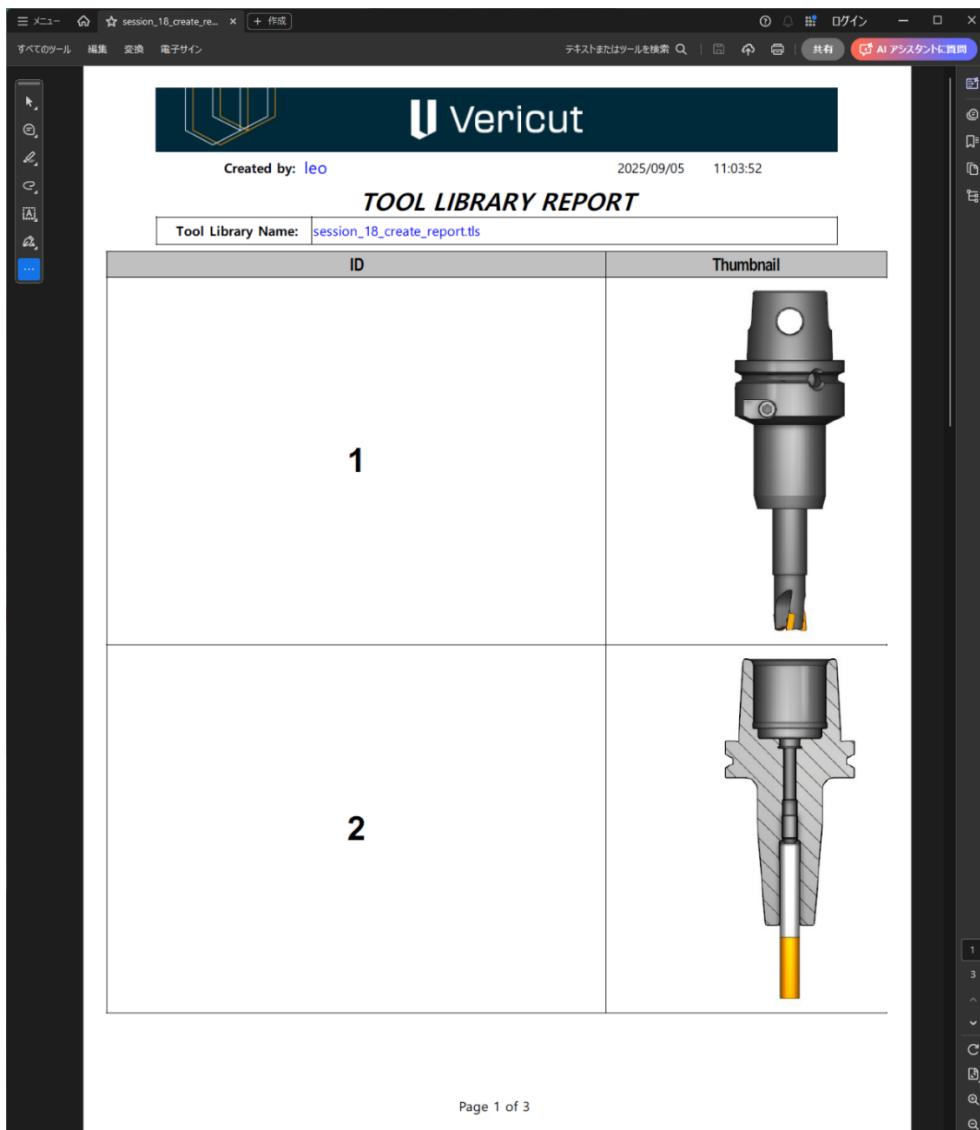
- [テンプレート] ウィンドウのリボンバーで、[レポートの作成] グループ> (PDF)
- [レポートの保存] ウィンドウで、作成する PDF のファイル名を指定



- [各種レポートタブ]>[ユーザータグへの入力]から作成者の名前が入力できる

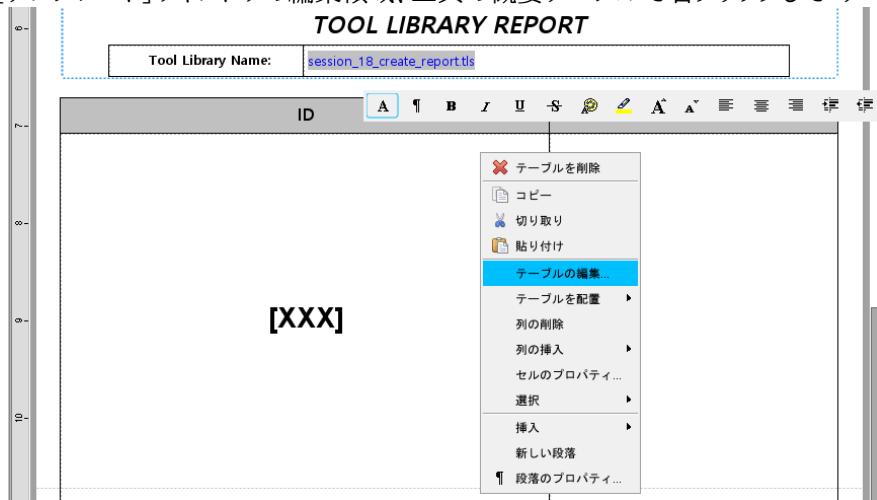
注記: 「ユーザータグへの入力」コマンドボタンをクリックすると「ユーザータグ」ウィンドウが開き、ペリカットレポート作成前に、ジョブに固有の情報を「汎用」ユーザータグに割り当てできます。必要に応じて、開いているセルに関連情報を直接入力します。すでに定義されているセルを編集するには、レポート テンプレートウィンドウを使います。

## セッション 18 (v9.6)



このテンプレートを修正して、レポートを作成します。

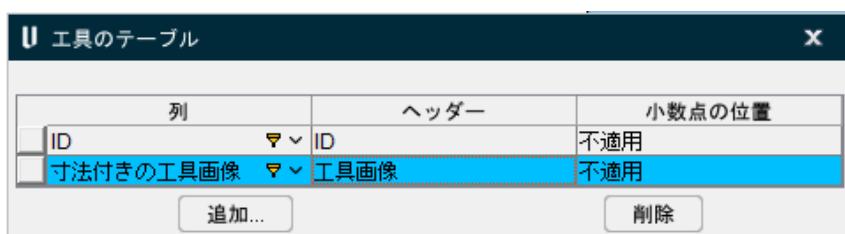
- PDF ファイルを閉じる
- [テンプレート] ウィンドウの編集領域、工具の概要テーブルで右クリックして「テーブルの編集」をピック



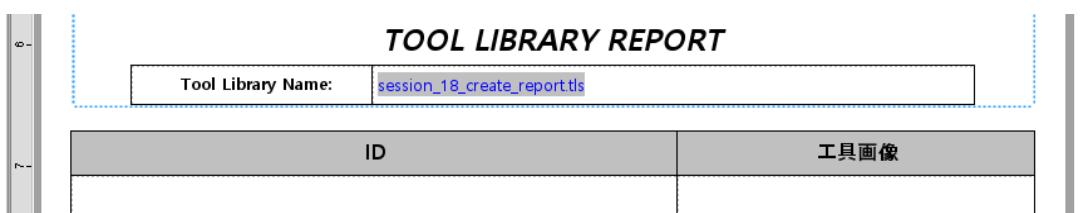


注記: [工具の概要テーブル] ウィンドウの機能で、工具ライブラリーレポートを作成できます。[工具の概要テーブル] ウィンドウは、[工具マネージャー] ウィンドウのリボンバーの[各種レポート]タブ>[テンプレート]から[テンプレート] ウィンドウを開いたときだけに使えます。

- 「縮小画像」の隣のプルダウンを使い、「寸法付きの工具画像」を選択
- ヘッダーを「工具画像」に変更して<Enter>



- ヘッダーが更新される



## セッション 18 (v9.6)

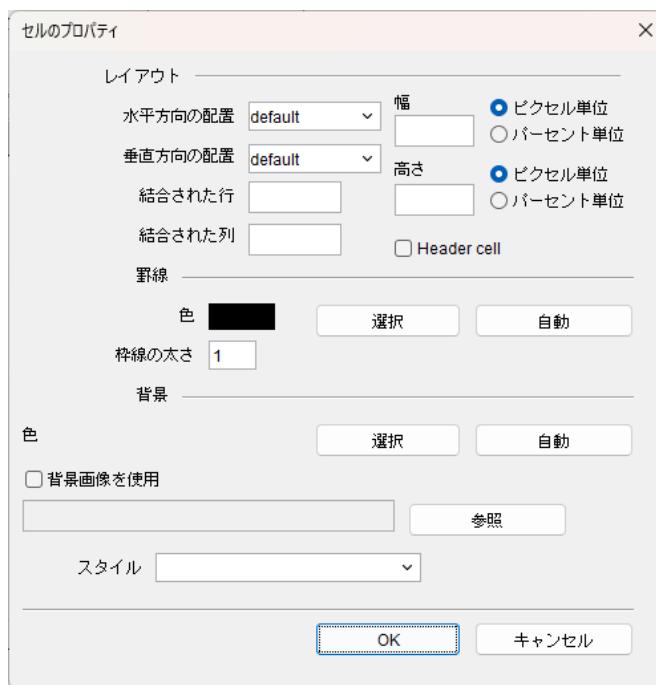
- 「寸法付きの工具画像」の左の□を選択し、テーブルの最上部へ移動

列	ヘッダー	小数点の位置
寸法付きの工具画像	工具画像	不適用
ID	ID	不適用
工具の説明	工具の説明	不適用

- [番号]を選択し、「追加」ボタンを押す
- [縮小画像]の隣のプルダウンを使い、「工具の説明」を選択
- [閉じる]を選択

TOOL LIBRARY REPORT		
Tool Library Name:	session_18_create_report.tls	
工具画像	ID	工具の説明
	[XXX]	[XXX]

- [工具画像]の列で右クリックしてメニューから「セルのプロパティ」をピック

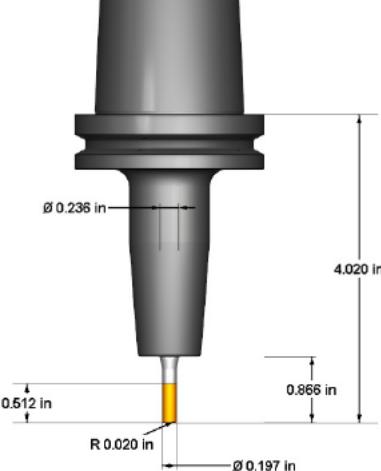
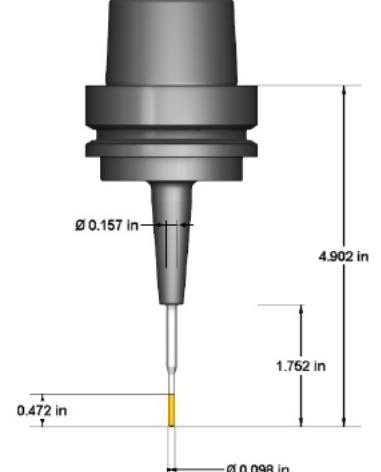


- セルの高さや幅を調整する
- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、 (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session\_18\_report\_template.vctemplate
- 保存

- [テンプレート] ウィンドウ > [レポートの作成] グループ >  (PDF) でレポートを作成

 **Vericut**

**TOOL LIBRARY REPORT**

Tool Library Name:	session_18_create_report.tls
 3 MILL_D0.197_R0.0197	
 4 DRILL_0.0984	

Page 2 of 3

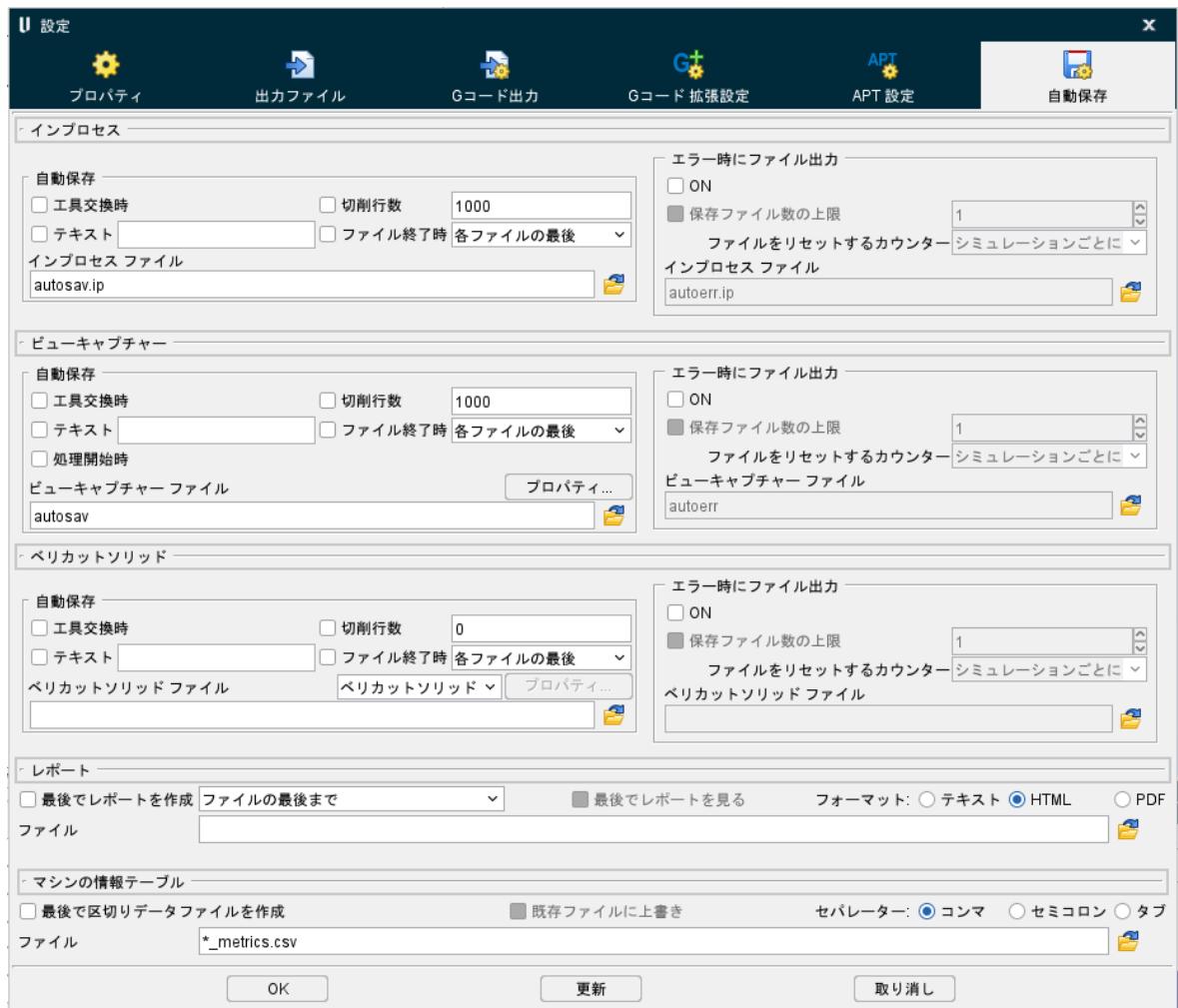
- 工具マネージャーを閉じる

ベリカットで、以下の手順を踏みます。

- |                          |     |
|--------------------------|-----|
| (1) プロジェクトレポート設定の自動保存    | 2 項 |
| (2) シミュレーションを実行してレポートを作成 | 3 項 |
| (3) レポートテンプレートをレビュー      | 4 項 |

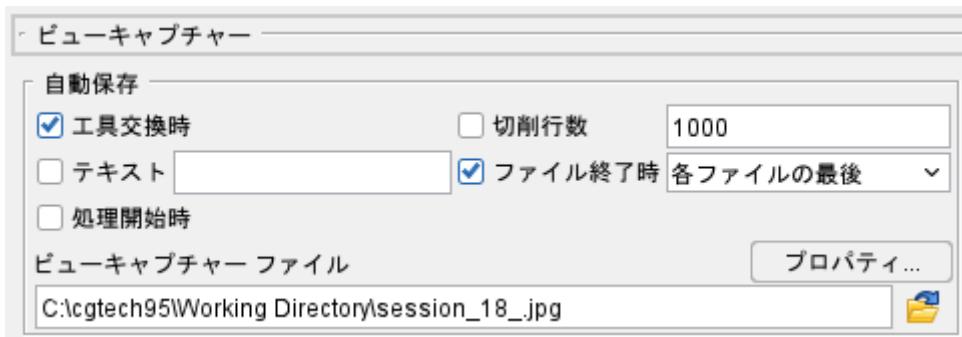
## 2. 工具交換ごとに切削ワークのイメージを保存するよう設定

- リボンバーから[プロジェクト]タブ>[設定]>[自動保存]タブ

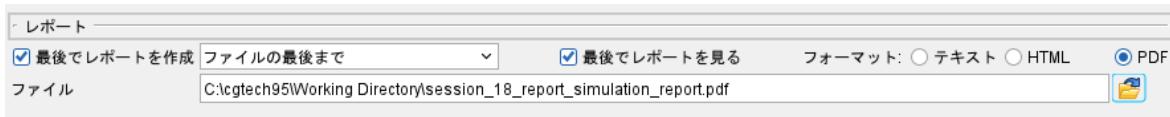


注記: [設定]ウィンドウ:[自動保存]タブでは、インプロセスファイル、ビューキャプチャー画像ファイル(PostScript、EPSF、TIFF、JPEG、PNGなど)、ベリカットソリッドファイル(vct)を自動的に保存する設定ができます。保存はユーザーが指定したイベントか、NC プログラム処理中にエラーを検出した場合に、行います。

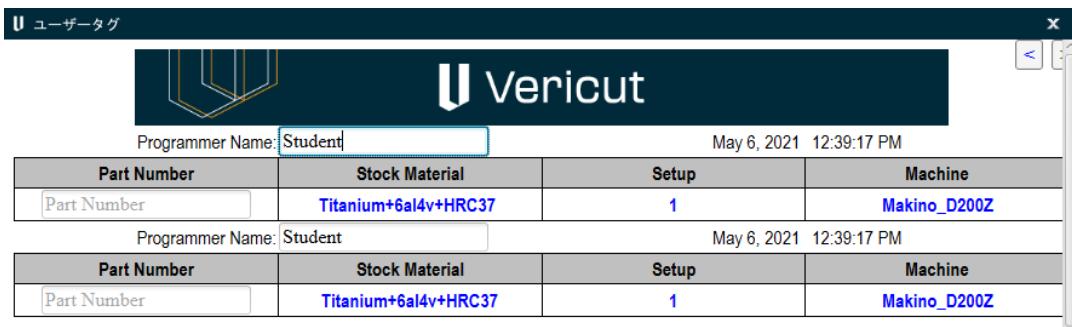
- 「ビューキャプチャー」セクションで、「工具交換時」と「ファイル終了時」にチェック
- 「ビューキャプチャーファイル」で、 (参照)を選択
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session\_18\_
- 更新



- 「レポート」セクションで、「最後でレポートを作成」、「最後でレポートを見る」、「PDF」にチェック
- （参照）から
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session\_18\_report\_simulation\_report.pdf、更新

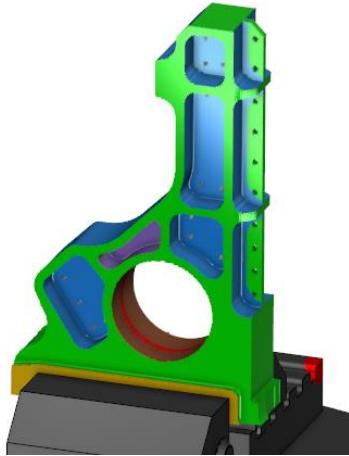


- OKでウィンドウを閉じる
- リボンバーの「ユーザータグへの入力」から「ユーザータグ」ウィンドウを開き、プログラマーネームを設定
- OK



## 3. シミュレーションを実行

- 材料ビューを適切な表示に修正
-  (連続実行)



Vericut

Programmer Name: Student

2025年9月29日 16:34:05

Part Number	Stock Material	Setup	Machine
	Titanium+Gal4v+HRC37	1	Makino_D200Z

## CYCLE AND PROGRAMMING INFO

Machine Time (h:mm:ss) 0:54:49

Total ERRORS: 9

Optimized Time (h:mm:ss) 0:54:49

Total WARNINGS: 0

Time Difference: 0%

## VERICUT FILE SUMMARY

File Type	File Name
プロジェクトファイル	session_18_create_report.vcproject
マシンファイル	generate_reports.mch
基本コントローラファイル	generate_reports.cl
工具ライブラリファイル	session_18_create_report.tis
NCプログラム	vericut_setup.1nc

## TOOL SUMMARY

Tool ID	Tool Description	Dimensioned Tool Image	Warnings	Errors
1	MILL_D0.787_R0.039		0	8

Page 1 of 7

Programmer Name: Student

2025年9月29日 16:34:05

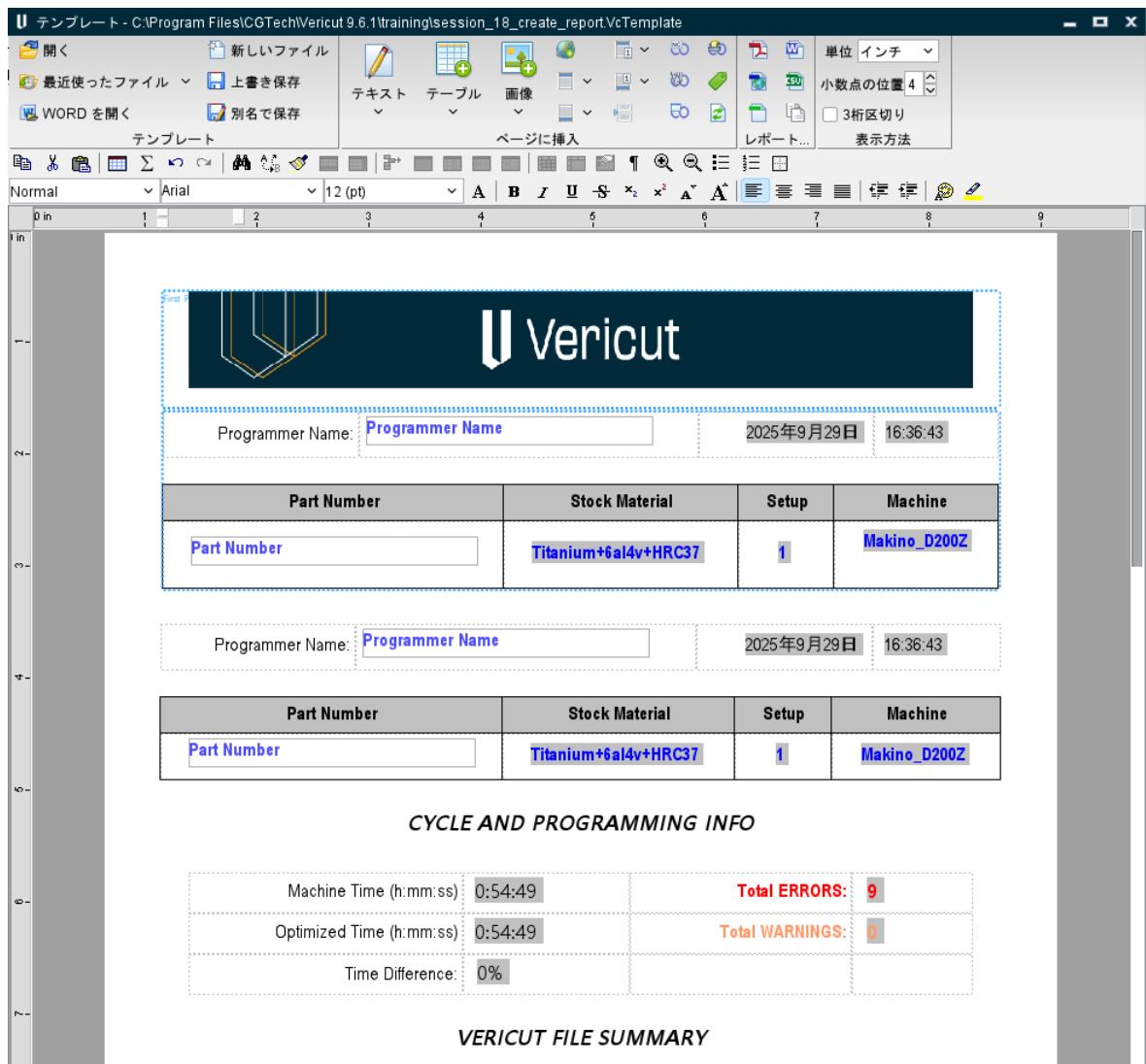
Part Number	Stock Material	Setup	Machine
	Titanium+Gal4v+HRC37	1	Makino_D200Z

Thumbnail	Comments
	ピューキャブチャー: 工具交換; 行番号: 11
	ピューキャブチャー: 工具交換; 行番号: 293
	ピューキャブチャー: 工具交換; 行番号: 3390

Page 5 of 7

## 4. レポートテンプレートをレビュー

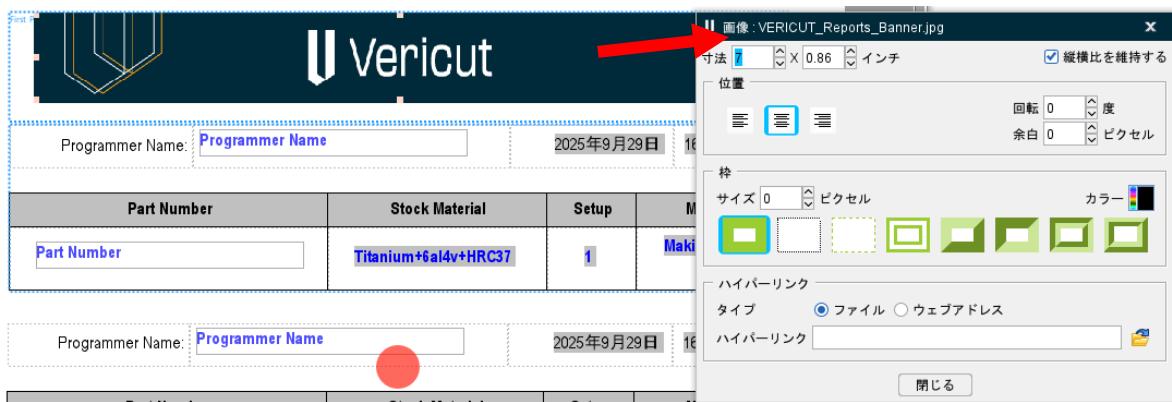
- リボンバーから[各種レポート]タブ>[テンプレート]>プルダウンリストから[編集]



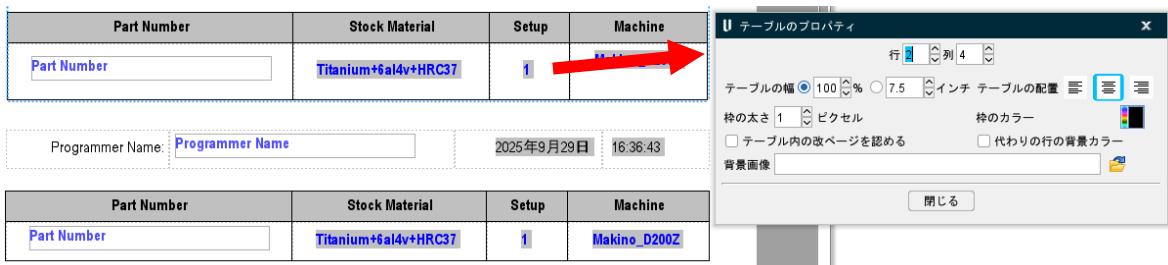
- 他の機能(テーブル、画像、ヘッダー、フッター、テキストなど)についてもレビューし、レポートテンプレートの細かな修正はヘルプを参照する

## セッション 18 (v9.6)

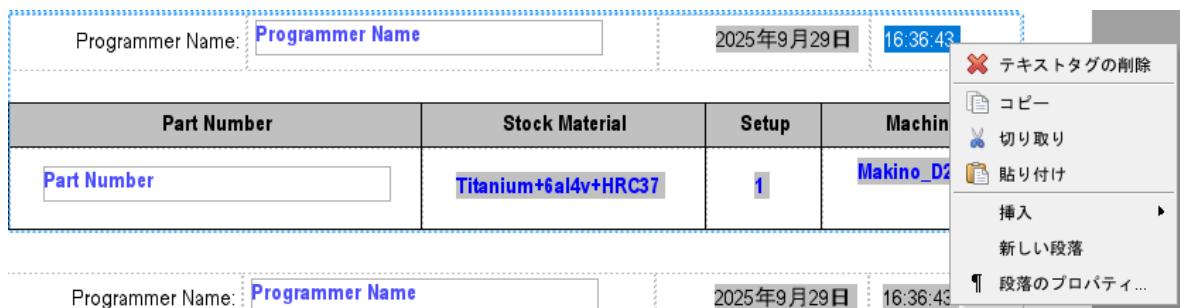
画像: [画像]ウィンドウを表示し、ベリカットで作成した画像やファイルからのカスタム画像を、レポートテンプレートに追加できる



テーブル: [テーブル]ウィンドウを表示し、自分で設計したテーブルを、ベリカットレポートに追加できる



テキスト: レポートテンプレートにテキスト関連データを追加できる



- [テンプレート]ウィンドウのリボンバーで、 (別名で保存)
- ショートカット=作業フォルダー
- ファイル名=session\_18\_report\_template.vctemplate
- 保存

- [テンプレート] ウィンドウを閉じる



- Yes

レポートテンプレートは保存され、ベリカットプロジェクトから参照可能となります。このテンプレートは、VMC (プロジェクトテンプレート) に追加できます。

## 5. プロジェクトの設定を保存する

- リボンバーから [ファイル] タブ > [別名で保存]
- ショートカット = 作業フォルダー
- ファイル名 = session\_18\_create\_report.vcproject
- 保存

## 6. まとめ

このセッションでは、プロセス文書(ベリカットレポート)の作成方法を見ました。レポートには工具マネージャーレポートとシミュレーションレポートがあり、切削工具の画像、工具交換時の切削ワークの画像、切削工具ごとの情報を表示しました。